

# DGシェイプ、歯科工作機にデータ分析機能

日本経済新聞 地域経済

2018年2月3日 2:19 [有料会員限定]

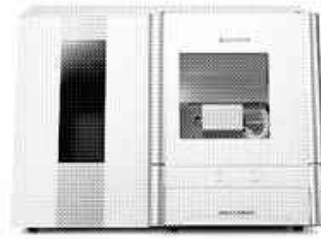
ローランドDGの子会社で歯科技工向け工作機械などを製造販売するDGSHAPE（DGシェイプ、浜松市）は3月、データ分析により経営管理をサポートする機能が付いた歯科用工作機械「DWX—52DCi」（税別398万円、写真）を発売する。

新開発したソフトウェア「DWINDEX（ディー・ダブリュー・インデックス）」を搭載しており、機械本体とパソコンをつなげばパソコン上で稼働時間や使用材料の履歴などのデータを日次や週次、月次ごとに抽出できる。

例えば切削用の刃ごとの稼働時間を見れば刃の交換時期の目安が分かったり、材料や成果物の履歴をみれば費用対投資効果でどれぐらいの利益を生み出せたかが分かったりといった使い方を想定している。

将来はDWINDEXをあらゆるモノがネットにつながる「IoT」や人工知能（AI）と組み合わせ、得られたデータをDGシェイプが新たな製品・サービスの開発につなげるねらいもある。

# 歯科工作機にデータ分析機能 Dシェイプ



ローランドDGの子会社で歯科技工向け工作機械などを製造販売するDIGSHAPE（Dシェイプ、浜松市）は3月、データ分析により経営管理をサポートする機能が付いた歯科用工作機械

「DWX-52DCi」（税別398万円、写真）を発売する。

新開発したソフトウェア「DWINDEX（ディー・タプリー・インデックス）」を搭載しており、機械本体とパソコンをつなげばパソコン上で稼働時間や使用材料の履歴などのデータを日次や週次、月次ごとに抽出できる。

例えば切削用の刃ごとの稼働時間を見れば刃の交換時期の目安が分かたり、材料や成果物の履歴をみれば費用対投資効果でどれぐらいの利益を生み出せたかが分かったりといった使い方を想定している。

将来はDWINDEXをあらゆるモノがネット

につながる「IoT」や人工知能（AI）と組み合わせ、得られたデータをDGシェイプが新たな製品・サービスの開発につなげるねらいもある。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

**NIKKEI** No reproduction without permission.